

Q 地球温暖化対策費、省エネ家電製品購入補助金の内訳は。

A 全体の申請件数は493件、補助交付金額は1,268万円である。内訳としては、冷蔵庫が349件、補助交付金額935万円、エアコンが93件、補助交付金額263万円、テレビが34件、補助交付金額48万円、照明関係が16件、補助交付金額21万円、冷凍庫が1件、補助交付金額1万円となる。

Q 幼児施設関連事業費、4市

1町の連携事業として行われているキャリアアップ研修の事業効果の実感と参加者の感想や研修内容のニーズ等の声を聞いているか。

A 令和5年度は6月10日、16日、7月10日の3日間プラザきくるにて実施した。研修分野は乳児保育一分野で募集人数80人のところ、参加人数77人となり菊川市30人、掛川市15人、袋井市12人、磐田市13人、森町7人であった。アンケート結果の研修理解度として「よく理解できた」「理解できた」は、1日目、2日目が100%、3日目が97・4%であった。受講した職員からは「具体的な話で分かりやすかった」「自分の保育を見直す機会となった」「研修を近くで実施できるとうれしい」という声があった。受講者から大変高い評価があり、保育従事者の知識の向上と処遇改善に役立った。

保育士不足というのは一番大きな問題である。代休が取れないことも大きな問題である。菊川市として、保育士を増やすために10万円補助をやっているが効果は薄い。保育士を増やすということに関して、仕事の責任を少なくするとか給料も上げること必要。資格を持った潜在的保育士をいかに呼び戻すかという努力が必要である。



Q 市単独小学校施設整備事業

費、各小学校の工事・修繕要望の内訳を把握し、全体計画スケジュールは立てられているのか。

A 各小学校における工事、修繕は、毎年学校ごと要望に對するヒアリングを実施し、

必要な事案については、次年度事業として採択し、実施している。普段からの施設の修繕要望は、学校からの情報収集と職員の現地確認によって、施設に必要な修繕を把握した上で、改修工事を実施している。これらの工事、修繕は、各学校の活動状況や、季節などタイミング等を見極め全体のスケジュールを立てながら実施しており、空調設備やトイレ改修工事など、完成までに時間を要する場合は、長期休みや週末等を使うなど、学校側とスケジュールを調整しながら実施している。

教育予算が非常に少ない。施設整備費が最初に予算の枠ありきからスタートするので、その中で選択できるものとなり、必要なこともできなくなっている。必要なところを何とかしていこうという予算組みがされていない。必要なところにお金をつけるといった姿勢をぜひ持っていただきたい。



省エネ家電購入補助金は、昨年から実施しているが、利用者が多いと感じる。相当高額の省エネ家電を買わなければ対象にならず、利用できないという意見を多く聞いていたが、ある程度効果があると感じるので継続していくべきではないか。